

医学系研究に関する情報の公開について

研究機関名*	独立行政法人労働者健康安全機構 大阪労災病院
研究課題名*	ロボット支援超低位前方切除術又は経肛門吻合を伴うロボット支援直腸切除術の手術成績に関する後向きコホート研究
所属科*	外科・消化器外科
研究責任者*	鄭 充善
研究実施期間	開始 西暦 2023年 2月 1日 ~ 終了 西暦 2024年 4月 30日 (予定)
対象疾患 (予定症例数)	直腸癌 (36 症例)
研究対象となる治療・手術・検査の時期	自 西暦 年 月 日 ~ 至 西暦 年 月 日
研究概要*	<p>本研究は、日本国内の直腸癌患者に対するロボット支援超低位前方切除術 (R-sLAR) 又は経肛門吻合を伴うロボット支援直腸切除術 (ロボット支援括約筋間直腸切除術 [R-ISR] 又は経肛門アプローチ併用ロボット支援直腸間膜全切除術 [R-TaTME]) の手術成績を明らかにすることを目的とする。術後短期成績に基づく feasibility を確認後、術後長期成績の評価を行う (長期成績の評価は研究計画を変更して実施する)。全国約 30 施設から 2 年間 (2020 年から 2021 年まで) の診療録データを収集し、以下の項目を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全手術時間及びコンソール時間 ・ 術中出血量 ・ 開腹移行割合 ・ 術中有害事象発現割合 ・ 術後在院日数 ・ 癌遺残 ・ 術後 30 日以内の全合併症発現割合 ・ 術後 30 日以内の再入院割合 ・ 術後 30 日以内の再手術割合 ・ 退院時の死亡割合 ・ 術後 30 日の死亡割合 ・ 術後 90 日の死亡割合
倫理的配慮・個人情報の保護の方法について*	(例) 連結可能匿名化を行う。対応表はそれぞれの部署 (施設・研究室) で厳重に保管する。本研究で得られたデータを当院外へ提供する際には対応表は提供せず、連結可能匿名化されたデータのみを提供する。学会や論

別紙第2号様式

	文等で研究成果を発表する場合も、個人を特定できる情報を明らかにすることは決して行わない。
研究の問い合わせ先*	外科・消化器外科 吉川 幸宏

*記入必須項目